

決算内容をより深く専門的に審査するため、各常任委員会で審議を行いました。

## 総務民生常任委員会報告

委員長 中西 顕治

9月21日、22日、本委員会に付託されました「平成28年度能勢町一般会計歳入歳出決算認定について」のうち、総務部・出納室・議会事務局・健康福祉部の決算内容を審議した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。主な質疑応答は次のとおりです。

**問** 広報のせの編集体制と内容充実について

**答** 編集担当者1名で行っている。記事はより見やすく充実させてきた。従来より住民の投稿ページも活用されている。平成29年度より、企業のPRページも掲載している。

**問** 消防団の体制再編はどう検討しているか。

**答** 消防団の意向を尊重した中で、負担軽減を図れるよう再編の検討を行っていく。

**問** 能勢町が加入している各種保険の状況について

**答** しあわせ守り隊のボランティア保険の他、全国町村賠償責任保険があり、町主催の行事や行政事業において、町の瑕疵<sup>かし</sup>が原因の場合に過失に応じて賠償を行う。

**問** 独居高齢者の見守りについて

**答** 徘徊緊急通報装置は、生産中止になっており普及に課題がある。今後、同種のシステムの導入を再検討する。

**問** 放課後児童クラブが定員の40名を超えているようだが、適切な運営か。

**答** 登録42名の他に臨時、一時保育があるが、常時40名は集まらない。2教室での実施予定はないが、子どもの居場所づくりは全町的に拡げていきたい。

**問** 子ども医療費助成が行なわれているが、町外医療機関での受診に対する清算はどうなっているか。

**答** 町外医療機関では窓口で医療費を支払う必要がある。町窓口への医療明細の提示から、最長2か月後の清算となる。

**問** 山下駅周辺の駐車場利用が減少して閉鎖となっているところも多い。阪急バスの利用状況はどうなっているか。

**答** 利用実績分析は阪急バスが行っている。観光用(グランドバス)や学生用(スクールバス)の取り組みもなされ、妙見線では2万6千人から3万人に改善された。

**問** 子どもの生活実態調査で、全国平均に対する認識は。

**答** 困窮度Ⅰは全体の17%を占め、国と比較しても高い。可処分所得の向上は必須である。既存施策制度の中で補完すべく施策展開を検討する。

続いて、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、国民健康保険診療所特別会計について審議した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。